

理学研究科アドミッション・ポリシー

<博士前期課程>

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて、本課程の教育目標に定める人材として相応しい、下記のような人を求めています。

- ・理系学部における教養および専門教育を修了した程度の基礎学力とコミュニケーション能力を身につけている人。
- ・学士課程教育又は大学院教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人を多様な方法で受け入れるために、社会人や留学生などの受入も対象として、各専攻の実施する筆記試験や口頭試問による複数の入試を行っています。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

<数学専攻>

一般選抜入試では、理系学部における専門教育を修了した程度の数学の基礎学力と専門的知識・技能を問うため、筆記試験を課します。また、科学英語に関する基礎学力を問うため、英語筆記試験を課します。さらに、自発的に数学の学習・研究に取り組む意欲の高さ、数学への強い好奇心、数学研究に必要な学力およびコミュニケーション能力を問うため、口頭試問を課します。

<物理学専攻>

一般選抜入試では、物理学に関する基礎学力を問うため、筆記試験を課します。また、学修および研究遂行能力を問うため、口頭試問を課します。研究を遂行するために必要な英語能力も選抜基準に含まれます。一般選抜入試は宇宙地球科学専攻と合同で行います。

また、英語で同様な入試選抜と入学後のカリキュラムを行う国際物理特別コースで、海外の他大学からの留学生の進学も幅広く受入れます。

<化学専攻>

一般入試選抜では、英語に関する基礎学力を問うため、TOEIC、TOEFL等の成績を参照し、物理化学、無機化学、有機化学の基礎学力については筆記試験を課します。また、研究に対する意欲・関心の高さを問うため、面接試験を課します。留学生に関しては、統合理学特別コースを利用することも可能とし、英語に関する基礎学力に関しては、TOEIC、TOEFL等の成績を参照し、物理化学、無機化学、有機化学の基礎学力については筆記試験を課します。また、英語で同様な入試選抜と入学後のカリキュラムを行う国際的な統合理学特別コースで、海外の他大学からの留学生の進学も幅広く受入れます。

<生物科学専攻>

特別選抜入試は、大学の学業成績が一定のレベルに達した人を対象とします。科学英語に関

する基礎学力については、英語検定試験の成績証により評価します。論理的思考力、研究に対する意欲・関心の高さを問うため、自己推薦書に基づいた口頭試問を課します。

一般選抜入試では、科学英語に関する基礎学力を問うため、英語筆記試験を課します。生物学に関する基礎学力を問うため、数学、物理学、化学との境界領域を含む生物科学分野の筆記試験を課します。論理的思考力、研究に対する意欲・関心の高さを問うため、口頭試問を課します。

また、英語で同様の選抜入試を行う統合理学特別コースでは、海外からの留学生を広く受入れます。

<高分子科学専攻>

一般選抜入試では、学修に必要な英語に関する基礎学力について、指定の英語検定試験の成績証により評価します。学修に必要な化学に関する学力を問うため、基礎的な有機化学および物理化学の筆記試験と、より高度な有機化学・より高度な物理化学・高分子科学・生物化学の中から2科目を選択する筆記試験を課します。基礎的な化学の知識、高分子科学に対する興味、およびコミュニケーション能力を問う口頭試問を課します。

2次募集入試では、学修に必要な英語に関する基礎学力について、指定の英語検定試験の成績証により評価します。学修に必要な化学に関する学力を問うため、有機化学・物理化学・生物化学の中から2科目を選択する口頭試問を課します。また、口頭試問においては、高分子科学に対する興味、およびコミュニケーション能力も問います。

また、英語で同様な入試選抜と入学後のカリキュラムを行う国際的な統合理学特別コースで、海外の他大学からの留学生の進学も幅広く受入れます。

<宇宙地球科学専攻>

第1次募集では宇宙・地球・物質・生命という多様な対象を基礎科学（特に物理学）の立場から研究する能力を問うため、物理学専攻と合同で、基礎物理学に関する筆記試験および口頭試問を課します。

第2次募集では、上記対象をより広い意味での基礎科学の立場から研究する能力を問うため、基礎物理学と宇宙地球科学に関する小論文と口頭試問を課します。

1次、2次、いずれの募集でも、研究を遂行するために必要な英語能力も選抜基準に含まれます。

<博士後期課程>

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受けて、本課程の教育目標に定める人材として相応しい、下記のような人を求めています。

- ・修士の学位を取得した程度の研究遂行能力を有し、博士の学位を取得して社会で活躍することを目指す人。
- ・大学院教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、専門分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人。

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人を多様な方法で受け入れるために、社会人や留学生を対象としたものも含め複数の方式による入試を実施しています。

専門分野での知識や研究経験を計るための研究プレゼンテーションや、研究意欲等を計るための面接も実施します。

いずれの場合も、入学希望者の学力及び専門的知識と研究遂行能力に加え、希望する指導教員とのマッチングに十分配慮しています。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

<数学専攻>

修士の学位を取得した程度の研究遂行能力、数学とその関連分野における高度の専門的知識・技能を問うため、修士論文の研究成果の発表と、それに関する質疑応答を課します。

<物理学専攻>

博士後期課程で行う専門的な物理の研究遂行能力を問うため、修士論文あるいはそれに相当する研究成果の発表と口頭試問、加えて基礎科学に関する学力試験を課します。また、研究を遂行するために必要な英語能力も問います。

また、英語で同様な入試選抜と入学後のカリキュラムを行う国際物理特別コースで、海外の他大学からの留学生の進学も幅広く受入れます。

<化学専攻>

入試選抜では、化学専攻が課した書類選考を行った後に、専門分野における研究経験と知識を問うため、修士論文の研究成果あるいはそれに代わる研究成果の発表と、それに関する質疑応答で行うとともに、入学後の研究計画についても口頭試問を課します。留学生に関しては、統合理学特別コースを利用することも可能とし、専門分野における研究経験と知識を問うため、修士論文の研究成果あるいはそれに代わる研究成果の発表と、それに関する質疑応答で行うとともに、入学後の研究計画についても口頭試問を課します。

<生物科学専攻>

科学英語に関する高度な学力を問うため、英語筆記試験を課します。専門分野における研究経験と知識を問うため、修士論文の研究成果あるいはそれに代わる研究成果の発表と、それに関する質疑応答を課します。論理的思考力、研究に対する意欲・関心の高さ、自己分析力を問うため、口頭試問を課します。

また、英語で同様の選抜入試を行う統合理学特別コースでは、海外からの留学生を広く受入れます。

<高分子科学専攻>

専門分野における研究経験と知識を問うため、修士論文の研究成果、あるいはそれに代わる研究成果の書面審査と発表、それに関する質疑応答を課します。論理的思考力、研究に対する意欲・関心の高さ、自己分析力を問うため、口頭試問を課します。

また、英語で同様な入試選抜と入学後のカリキュラムを行う国際的な統合理学特別コースで、海外の他大学からの留学生の進学も幅広く受入れます。

<宇宙地球科学専攻>

宇宙・地球・物質・生命という多様な対象を、基礎科学とくに基礎物理を重視して研究する

高度な能力を問うため、修士論文あるいはそれに相当する研究成果の発表と口頭試問、加えて基礎科学に関する学力試験を課します。また、研究を遂行するために必要な英語能力も問います。